

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月10日

協議会名:石川県生活交通の確保に関する地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
北鉄金沢バス株式会社	系統名:津幡(新道) 運行区間:本津幡駅~八幡~野町駅	社会情勢に注視しながら必要なダイヤ、便数の確保に努め、旅客の利便性の確保を維持した。特に野町駅での鉄道石川線との接続利用の利便性向上に努め、金沢MaaSコンソーシアムの「のりまっし金沢」アプリでのスマホ割引乗車券の周知拡販に努めた。	A 計画どおり実行された。	B 県内路線バス利用者数の維持(R4.10~R5.9)103,965人→(R5.10~R6.9)96,866人 ※減少理由 R6.3.16のダイヤ改正により、1日あたりの運行回数が減少したため。	引き続き社会情勢に注視し、需要に見合った適正なダイヤの編成に努める。
	系統名:内灘 運行区間:内灘駅~県庁前~金沢駅西口	社会情勢に注視しながら必要なダイヤ、便数の確保に努め、利用者の主に沿線の学校や行政庁舎への通勤・通学ニーズに沿ったものにする事で、旅客の利便性の確保を維持した。	A 計画どおり実行された。	A 県内路線バス利用者数の維持(R4.10~R5.9)65,204人→(R5.10~R6.9)77,661人	引き続き社会情勢に注視し、需要に見合った適正なダイヤの編成に努める。
北鉄加賀バス株式会社	系統名:温泉山中A 運行区間:加賀温泉駅~河南~山中温泉	北陸新幹線開業での観光客増加に対応したダイヤ設定及び地元利用者向けにはJR接続等を重視したダイヤ変更を実施。時刻表全戸配布の継続の他、加賀市が推進するMaaSの本格実施へ向けて積極的に参画することにより、利便性の向上(キャッシュレス決済、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図った。	A 計画どおり実施された。	B 県内路線バス利用者数の維持(R4.10~R5.9)73,189人→(R5.10~R6.9)69,296人 ※減少理由 R6.3.16北陸新幹線延伸に伴う関西、東海方面乗り換えにより、観光客が伸び悩んだため。	観光客向けには、JR、IR接続等を重視したダイヤ編成及び地元利用者向けダイヤ見直しを図る。また、利便性の向上(キャッシュレス決済推進、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図る。あわせて、北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の普及を図る。
	系統名:温泉山中H 運行区間:加賀温泉駅~河南~栢野	北陸新幹線開業での観光客増加に対応したダイヤ設定及び地元利用者向けにはJR接続等を重視したダイヤ変更を実施。時刻表全戸配布の継続の他、加賀市が推進するMaaSの本格実施へ向けて積極的に参画することにより、利便性の向上(キャッシュレス決済、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図った。	A 計画どおり実施された。	B 県内路線バス利用者数の維持(R4.10~R5.9)81,574人→(R5.10~R6.9)77,489人 ※減少理由 R6.3.16北陸新幹線延伸に伴う関西、東海方面乗り換えにより、観光客が伸び悩んだため。	観光客向けには、JR、IR接続等を重視したダイヤ編成及び地元利用者向けダイヤ見直しを図る。また、利便性の向上(キャッシュレス決済推進、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図る。あわせて、北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の普及を図る。
北鉄能登バス株式会社	系統名:富来 運行区間:富来~高浜~羽咋駅	小学生等の児童を対象にしたバスの乗り方教室の開催など、広くバスに関心を持ってもらう取組の実施により利用客の増加を検討した。	B 計画どおり実行されていない点があった。 理由:令和6年能登半島地震によって社会情勢が変化したことにより、開催を見合わせたため。	B 県内路線バス利用者数の維持(R4.10~R5.9)141,783人→(R5.10~R6.9)125,333人 ※減少理由 令和6年能登半島地震によって利用が低迷したため。	志賀町と富来線のあり方について協議し、利用者の利便性確保を図る。
能登島交通株式会社	系統名:曲 運行区間:公立能登総合病院~七尾駅前~のとじま臨海公園	和倉温泉観光協会と連携したお得な1日券の販売、七尾市による健康センター等を利用した場合の運賃割引制度、65歳以上を対象とした割引回数券の販売を継続するとともに、沿線の観光資源(能登島周辺を周遊するイルカなど)の情報をSNS等の媒体で発信する他、高齢者への弁当の配送を目的とした貨客混載を検討した。	B 計画通り実行されていない点があった。 理由:バスでの貨客混載については人員不足のため対応不十分であると、実施を見合わせたため。	B 県内路線バス利用者数の維持(R4.10~R5.9)52,178人→(R5.10~R6.9)37,029人 ※減少理由 令和6年能登半島地震によって利用が低迷したため。	地元利用者へは65歳以上対象の割引回数券や島内施設利用での運賃割引など七尾市の制度を利用し、観光客へは1日券の販売継続で利便性を維持していく。HPやSNSによる情報発信の継続。路線バスでアクセスできる観光スポットや観光施設への入場割引券を路線バスに設置する。
加越能バス株式会社	系統名:南砺金沢 運行区間:井波~福光駅~金沢駅西口	地元観光協会(南砺市観光協会)と連携した企画切符の発行により、観光利用者等への利用促進やPRを図るほか、ホームページ・Instagram等SNSを活用した沿線地区の観光施設・資源の紹介や、JR金沢駅における北陸新幹線との接続や沿線学校への通学を考慮したダイヤの設定を検討する。	A 計画どおり実施された。	A 路線バス利用者数の維持(R4.10~R5.9)59,740人→(R5.10~R6.9)59,845人	南砺地区から金沢への通勤・通学の利便性と、金沢から南砺地区への観光利用での移動手段としての存在をこれまで以上にPRし、更なる利用者増を図っていく。また利用者の動向を注視し、より利用しやすいダイヤの設定を検討していく。